**ハンドマイク街頭演説原稿例　　岸田政権の大軍拡・大増税許さない**

二〇二三年五月十一日　日本共産党埼玉県委員会・作成

※５月１２日の全県いっせい宣伝用「新埼玉」号外を配布しながらの演説を想定※

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、今国会が大変なことになっています。今までだったら何カ月も時間をかけ、場合によっては国会の会期を延ばしたり次の国会に持ち越したりしてじっくり審議するような、国の進路を大きく左右する重大法案が、１カ月くらいのごく短時間の審議で次々と強行されています。例えば、岸田自公政権がめざしている軍備強化の財源を確保するための法律案があります。これが通れば、東日本大震災の被災地復興のための復興特別所得税の半分を軍事費に流用し、課税期間も本来の予定より延長されます。また、「防衛力強化資金」という特別の枠組みを作り、医療や年金のための積立金を取り崩してそこにあてるという制度も盛り込まれています。復興や社会保障のために納められたお金を、まったく違う分野に使うなど、とんでもないことではないでしょうか。

　このほかにも、老朽化した原子力発電所の運転期間を延長する法案や、健康保険証を廃止してマイナンバーカードに置き換える法案など、重要法案が次々と短時間で強行されようとしています。それを進めているのが岸田政権の与党である自民、公明と、日本維新の会、国民民主党です。まさに「悪政４党連合」ではないでしょうか。みなさん、こんな悪法の強行やめよの声をあげましょう。日本共産党は悪法にストップをかけるため、みなさんの声を力に、徹底的に悪政４党連合と対決してまいります。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

　ところでみなさん、５月３日は憲法記念の日、日本国憲法が施行されて７６年を迎えました。岸田首相は憲法改定に強い意欲を示していますが、憲法を変えることは今急いでしなければいけない問題でしょうか。マスコミの世論調査を見ても、岸田政権のもとでの憲法改定に反対が賛成を上回り、最優先の政治課題として憲法をあげた人はわずかしかいません。

　なぜ岸田首相は憲法を変えたいのでしょうか。岸田政権のやっていることを見れば、戦争放棄という憲法のしばりをなくし、他国の領土への攻撃が普通にできる「戦争国家」に日本を変えるのが真の狙いだと言わざるを得ません。そうなれば、軍事衝突の被害は自衛隊や在日米軍だけでなく、私たち一般市民にまで広がることは確実です。国民の命と財産を守るには、戦争を起こさないことが第一ではないでしょうか。日本共産党は戦争の準備ではなく平和の準備をする政治に変えるため、全力で取り組んでいきます。先日、志位和夫委員長が中国大使と会談し、日中関係の前向きに打開するための提言を直接手渡しました。中国大使からは、前向きの意見が出されたことをご紹介します。

　政治や社会の問題、気候危機、ジェンダー平等など多彩な記事満載の「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）